

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。	良くなっている	予想より遅いものの、景気は回復過程にある。
1-2	今後の経済のリスク要因(第1回時点と比較して変化がある場合)、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	—	急激な円安による原材料価格・エネルギー価格の高騰等、予想以上に物価が上昇し、消費需要の減退が懸念される。
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	—	医療費の抑制など、早急な改革が検討されるべきである。

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
3-1	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	—	配偶者特別控除により、制度上は壁は存在しないものの、あたかも存在しているように受け止めている人が多い。これは企業における配偶者手当の支払いが控除限度額と連動して決められている企業が多いためであり、手当そのものは各企業の労使により決められるものとはいえ、配偶者の年収に関係なく支払われる家族手当等に切り替えていくよう、政府も意思表示をしていく必要がある。年金の第3号被保険者については、加入による給付額への影響も議論されるべきであり、同時に保険料の労使折半による使用者の負担増加についても理解を求めていく必要がある。今後、決定されているパート労働者への適用拡大は労働時間、年収、企業規模とも狭すぎる。
3-2	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項(女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等)について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	—	女性に限らず、男性社員にとっても、現在のような長時間労働や頻繁な転勤、硬直的な働き方は、ワークライフバランスの推進・付加価値生産性の向上にとって問題である。本来、これらに対する対策は労使により自主的に検討され、見直されていくべきものであるが、その動きはあまりにも遅く、これを促進するためには各企業における現状や目標について、情報公開を義務付けるなどの対策が必要である。また長時間労働については、制度的な対応が必要かもしれない。